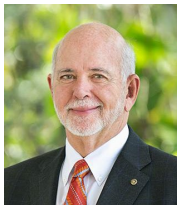

2018-19年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン

Weekly Report Niigata

国際ロータリー
2018-19 年度テーマ

インスピレーションになろう

2018～19 年度
新潟ロータリークラブ会長
若槻　良宏

新潟 RC　10月第　2 例会（2018.10.9）№3252

(1)　ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2)　若槻　良宏会長挨拶

皆様こんにちは。10月6日に開催されました第2560地区奉仕プロジェクト委員会主催の「認知症」を知るセミナーに出席してまいりました。当日は、認知症サポーターの養成講座に続き、「認知症の人と向き合える社会を共に考えよう」との演題で相談員による講演が行われました。
既にご案内のとおり、認知症とは、様々な原因で脳の細胞が死んでしまったりして、脳の司令塔の働きに不都合が生じ、様々な障害がおこり、生活する上での支障がおよそ6か月以上継続している状態を指します。日本の認知症の患者数は2012年時点で約462万人（厚生労働省の2015年1月の発表）であり、65歳以上の高齢者の約7人に1人と推計されています。これに認知症の前段階とされる「軽度認知障害（MCI: mild cognitive impairment）」と推計される約400万人を合わせると、高齢者の約４人に１人が認知症あるいはその予備群ということになります。団塊の世代が75歳以上となる2025年には、認知症の患者数は700万人前後に達すると推計されており、国家的課題といっても過言ではないと思います。
認知症の中核症状は、①記憶障害、②見当識障害、③理解・判断力の障害、④実行機能障害等であり、これらは治りにくいのに対し、認知症の付随症状であり、性格・素質・環境・心理状態が影響を与えることにより発現する、①不安・焦燥、②うつ状態、③幻覚・妄想、④徘徊、⑤興奮、暴力等については、適切な支援によって治る可能性があるとのことです。そのためには、早期受診が有用であり、早期であるほど、薬で進行を遅らせることが可能であり（アルツハイマー病の場合）、また、病気が理解できる時点から、少しずつ理解を深めていくことにより、生活上の障害を軽減でき、さらには、障害の軽いうちに、障害が重くなったときの生き方を決めておくことも可能になります（任意後見制度の活用等）。

また、認知症を予防するための方法について、脳血管性認知症の予防方法は、高血圧症、高脂血症、肥満対策などの対策が有効であり、アルツハイマー病の予防方法は、運動・食事をはじめとする生活習慣病対策が有効であるとのことです。また、脳の活性化も大切であるとのことです。具体的には、①心地よい刺激、笑い、②友人や家族と楽しく過ごす、③人に役立つことを日課に取り入れる、④ほめる、ほめられる等の刺激のある日常が重要であるとのことです。これらは、まさにロータリー活動の実践に他ならないと思います。
最後に、認知症の人への支援については、こころのバリアフリーと「人間杖」が必要であるとの話がありました。さりげなく自然にが一番の支援であるとともに、①驚かせない、②急がせない、③自尊心を傷つけないという心得をもって対応することが大切とのことでした。
川瀬ガバナー年度の地区の運営方針の一つとして、「認知症に優しい社会と、認知症予防のできる街づくりについて学ぼう。」が挙げられています。私たちのクラブも、この地区の運営方針に則って取組みを行っていきたいと考えております。具体的には、①2019年4月6日に新潟東RCの主催により開催される認知症セミナーへの参加、協力、②認知症予防の学習会（職業奉仕委員会）を検討してまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。
もう一つ報告がございます。10月7日に旧新潟市内7RCの親善野球大会がハードオフエコスタジアムで開催されました。新潟RCからは、選手として、監督の山田隆一さんをはじめ、大澤強さん、樋熊紀雄さん、本多晃さん、金井政則さん、町田智さん、森下英樹さん、中尾嘉則さん、鈴木宏司さん、津久井勝之さん、内田直紀さん、吉田和弘さん、内山博之さん、若槻良宏が参加し、徳永昭輝さん、小飯田澄雄さんが応援に駆け付けてくださいました。1回戦は、長年のライバルである新潟中央RCを27対7で圧倒し、準決勝は昨年の優勝チームである新潟北RCを13対9で下し、決勝へ進出しました。決勝の相手は優勝候補の新潟西RCでした。結果は、初回に6点を先行するも、10対13の逆転負けで惜しくも準優勝でした。懇親会では、山田監督が、「これまで野球は、東西南北の各RCが強く、新潟・万代・中央は弱小と言われてきたが、本日を境に新潟RCは一歩抜け出した！これで強豪の仲間入りだ！！！」と力強く強豪宣言を行い、大いに盛り上がりました。ホームランを放つなど大活躍された津久井勝之さんが敢闘賞を受賞しました。津久井さんおめでとうございます！体力的には大変きつかったですが、野球少年に戻ることができ、また、何よりもチームメートや他のRCと大いに親睦を深めることができ、とても充実した一日になりました。皆様のご支援に感謝申し上げます。
本日は、認知症セミナーと野球大会についてお話をさせていただきました。引き続き、クラブのプロジェクトに対する理解、ご協力をお願いし、会長の挨拶とさせていただきます。

(3)　一年交換学生 Rane Bieker さん挨拶・お小遣い贈呈

(4)　ビジターの紹介

三条 RC
地区大会実行委員長　斎藤　弘文君
地区大会副実行委員長　渡辺　良一君
地区大会実行委員　柳取　崇之君、
三条 RC 会長　松永　一義君

(5)　地区大会実行委員長　　斎藤　弘文君ご挨拶

(6)　ロータリーの友紹介（安野広報会報雑誌委員長）

(7)　山田　隆一野球部監督より市内野球大会報告

(8)　各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(小林　敬直副委員長)
高橋　秀松君
米山奨学会寄付発表(新田　幸壽委員長)
仙石　正和君
青少年育成基金寄付発表(田中堅一郎委員長)
石本隆太郎君　　樋熊　紀雄君
本間　　彊君　　細野　義彦君
田中堅一郎君

(9)　ニコニコボックス紹介（武田　眞二委員）

・三条 RC　斎藤弘文君　地区大会登録ありがとうございます。心よりお待ち申し上げております。

・竹田　正弘君　大先輩の堀学長をお迎えして。

・高橋　秀松君　孫が生まれました。また男でした。

・金井　政則君　7日の7RC 対抗野球大会、2試合勝ち抜き執念の準優勝おめでとうございました。私自身は不名誉の肉離れで1試合目3打席でリタイア、樋熊先生、代走ありがとうございました。暫くはゴルフも出来ません・・・。もう一つ、6日の第1回「長岡米百俵フェス」の音楽祭に息子のバンドが参加、家内と二人で楽しみました。ニコニコ、多難な3連休でした。

・野球同好会山田監督他選手一同　10月7日（日）7RC 野球大会準優勝、全員野球で決勝進出ニコニコの結果となりました。

・新田　幸壽君　10月8日、新潟シティマラソン走りました。今回も走ったのか歩いたのか分からない状態でしたがメディカルランナーの役目をちょっぴり果たし、何とかぎりぎりで完走できました。大会スタッフ、ボランティアの皆さんに、そして我が家の応援団に感謝してニコニコです。

・矢野　達史君　結婚記念日のお花をありがとうございました。単身赴任中ですが次に妻が来るまで、ていねいに水を与え、輝きを保つようにがんばります。

・仙石　正和君　誕生祝のワイン、ありがとうございました。誕生日は変えようがなく、この時期ノーベル賞の発表と重なりニコニコボックスは毎年ノーベル賞のことをご報告しています。本庶佑さんが受賞となりました。一人の日本人として実に誇らしいです。一方で、日本の産業界のリーダーの小林経済同友会代表幹事は会見で、ノーベル賞に大騒ぎする日本は異常だと述べていました。文脈的にこの発言はノーベル賞の評価をさげる意味ではもちろんありません。ノーベル賞にはモノ作りの工学賞がないので6年前にイギリスのクイーンエリザベス学賞が設立され2年毎に受賞者が選考され、賞金はノーベル賞より大きいそうです。昨年3回目のこの賞に日本人初の寺西信一さんが受賞されました。日本電気㈱に入社されパナソニック㈱でも活躍されたデジタルカメラなどのセンサーの技術者です。新潟ロータリーには放送業界、通信業界の方々も多く寺西さんをご存知の方もおられると思いますが、多くの方はご存じないと思います。技術者は産業界の”縁の下の力持ち“の役割なのでしょうが、寺西さんは、日本人最初のノーベル賞受賞者の湯川秀樹さんに対応しています。若い研究者、技術者がこのような受賞者に続くことを願いつつニコニコします。

(10) 幹事報告（大澤　強）

・地区ゴルフ大会お礼状披露

・例会終了後4階「柳の間」にて指名委員会を開催致します。

(11) 卓話

「日本のロータリークラブ誕生と米山梅吉の思想」

新潟経営大学　堀　峰夫学長

(12) １０月９日例会の出席率　７９．１２％

会員数　９３名（出席免除会員　７名）

出席者　７２名（出席免除会員　５名を含む）

（2 週間前メーク後　８２．９５％）

１０月２３日の例会予定　「月見例会」

１７：００登録　１７:３０開会　イタリア軒

新潟ロータリークラブホームページアドレス
http://www.niigatarc.jp/